

山ノ神遺跡出土鴟尾 修復

大津市教育委員会

考古資料・修復



大津市一里山三丁目にある山ノ神遺跡の窯跡で、今から約 1300 年前に、焼くのに失敗してそのまま放置された鴟尾 4 基のうち 3 基が完全復元され、勢ぞろいしました。

鴟尾とは、宮殿や寺院の屋根の両端に取り付けられた飾りで、建物を力強く立派に見せる役目があります。奈良県唐招提寺の鴟尾は、奈良時代のものがつい最近まで屋根の上に乗っていて有名です。しかしこれは例外で、ほとんどの鴟尾は遺跡の発掘調査で見つかります。現在までに約 300 例ほどの鴟尾が見つっていますが、たいてい破片で完全に復元できるものは、ほんのわずかです。山ノ神遺跡ではそのような状況の中、完全に復元できる鴟尾が 4 基も見つかりました。

これらの鴟尾は焼成途中で窯の天井が崩壊したため埋まってしまい、取り出されること無く放置されたものです。4 個体もの鴟尾が一度に出土したのは、全国的に見ても珍しいことです。これらの鴟尾は焼成途中であったので、劣化が著しく現状のままでは復元が困難なため、薬品による保存処理を行い、今年度は 2 基の復元をおこないました。

KYOTO KAGAKU CO.,LTD
Preservation and Restoration of Cultural Property

tel.075-605-2510
fax 075-605-2519
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

<http://www.kyotokagaku.com/jp>
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp